様式第２号－１

事業計画書（その１）

① 団体の目的　＊定款，規約，会則等に定めている目的を，そのまま転記してください。

この会は、いつでも誰でもどんな時も集まれる場所を提供し、話したり聞いたりする中で、癒しの場コミュニティーの場を作る。特に社会に馴染みにくい子供や若者が、色々な体験をすることで自信を取り戻し、社会に繋がることを目的としている。

②事業の分野

□保健，医療又は福祉の増進　☑社会教育の推進　☑まちづくりの推進
☑観光の振興　□農山漁村又は中山間地域の振興　□学術，文化，芸術又はスポーツの振興
□環境の保全　□災害救援　□地域安全　□人権の擁護又は平和の推進　□国際協力
□男女共同参画社会の形成の促進　☑子どもの健全育成　□情報化社会の発展
□科学技術及び学術の推進　□経済活動の活性化　☑職業能力の開発及び雇用機会の創出
□消費者保護　□団体の運営又は活動に関する連絡，助言又は援助

③事業の概要　＊事業の全体像を簡潔に記入してください。

倉敷美観地区町家で「一汁一菜食」にこだわったランチを提供する。その中で「倉敷の文化を伝える」ワークショップを開催する。地元の人たちの憩いの場、観光に来た人たちとのふれあいの場にもなる。特に社会に馴染みにくい若者たちが、ランチ提供やワークショッの手伝いをする、中間的就労体験の場を目指している。

④社会的背景と解決しなければならない課題

＊提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。

①不登校やひきこもり傾向にある若者及びニートと言われている人たちは、自分に自信を無くしている場合が多い。社会参加をしたくてもなかなか一歩が踏み出せない。この様な若者たちが、色々な人たちと触れ合ったりふれあったり関わったりすることで、自信がつきアルバイトを始めたりなど、社会参加のきっかけとなる中老的就労の場がない。

② 倉敷の中心市街地は、高齢化が進み高齢者が孤立化していると言われている。その人たちが若者とふれあったり、伝統文化を伝えたりすることで生きがいを持つような場がない。

③ 美観地区には、高級な食事が出来る店はたくさんあるが、小さな子どものいる家族連れや単身者が、郷土食や家庭料理を安く手軽に食べられる店が少ない。

　このような課題から、色々な人達が食事をしたり、お茶を飲んだりしながら、倉敷の文化や伝統を話したり、語ったり出来るコミュニティーの場所が必要である。

⑤受益者の範囲　＊提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。

不登校及び引きこもり傾向にある若者およびニートと言われている人達とその家族
倉敷市民と町家周辺に住む人達
倉敷を訪れた観光客

⑥事業の成果　＊④の課題に対して，事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

「一汁一菜食」の提供を通して若者は、地域の方や観光客と接し、働くことに自信をつけることができる。それが自立へと踏み出す一歩となる。

またワークショップを通して町家周辺に住む人、特に高齢者の方々と若者との交流が図られることで相互に生きがいが持たれるようになる。

⑦事業の目標

＊⑥の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また，目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。

各ワークショップに若者を含む２０名の参加者があること。

月２回のカフェを開催する。

事業計画書（その２）

⑧事業の詳細

＊実施時期，場所，対象者，内容，特徴や重点事項など，できるだけ内容を明確にしてください。

◎ランチ提供のカフェ開催。

・場所　倉敷市東町、NPO 法人倉敷町家トラスト事務所
・毎月第三・四日曜日　１１時３０分～１５時３０分　　２４回
・「一汁一菜食」にこだわる。
・地産地消、家庭菜園などから提供してもらった材料を中心に使用
ランチ代金　５５０円

◎カフェ開催時に四回と他一回の体験型ワークショップ開催
参加費３００円（お菓子、お茶代）

第一回　「箸袋をつくろう」　　４月ランチ提供日
・講師　ご近所のお年寄り

第二回　「竹箸を作ってエコを学ぼう」　　５月ランチ提供日
・講師　ご近所のお年寄り

第三回　「七夕飾りを作って花火をしよう」　８月１日（土）
・倉敷伝承地区をまもり育てる会に協力
・講師　　中田和香菜さん（倉敷在住幼稚園先生）
４時～七夕飾り作り、笹飾り作り
６時～皆で昔懐かしい花火をする

第四回　「まつり寿司をつくろう」　　１０月ランチ開催日
・講師　　ご近所のお年寄り（交渉中）

第五回　「餅つきをして旧正月を祝おう」　　１月ランチ開催日
・町家トラストとの共同開催

タイムスケジュール
１１時３０分～１３時３０分　　ランチタイム
１４時～１５時　　ワークショップタイム
１５時～１５時３０分　　ティータイム

◎NPO 法人倉敷町家トラスト事務所は、温かくゆっくりできる雰囲気がある。そこで、色々な人達が集えるコミュニティーの場所作りをする。また、倉敷美観地区にあり、伝統的な文化を伝える事が出来れば良いと思う。これからの運営していく上での活動の基盤づくりとして行く事を目的とする。

⑨受益者負担　**※団体の財源確保のため，可能な限り参加費等を徴収してください。**

＊参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する　・　徴収しない

＊「徴収しない」とした場合，その理由を記入してください。

事業計画書（その３）

⑩事業の見通し　＊２年後，３年後といった将来，事業をどのように展開させていきますか。

「一汁一菜食」を中心にしたランチを提供するカフェの開催を、週に１回とする。
その中でスタッフやアルバイトの若者への人件費を支払えるようにする。
観光マップや観光情報誌に掲載し、宣伝する。

⑪団体の能力の活用

＊団体の持つ能力や特色を，課題の解決にどう活かしていきますか。

長年不登校体験のある若者の支援活動に関わる中で、若者やその家族との交流や町家 CAFÉ 開催で地元の方たちとの関わりの中から、ワークショップへの参加を呼び掛けることができる。岡山高等学院に、協力しているので参加協力を呼びかけできる。教育委員会、保健所にも、協賛いただける。

一汁一菜食に関しては、主婦の集まりなので、健康に良い、美味しい家庭料理が提供できる。地元の年配者から伝統食を教えてもらえる。知り合いが、家庭菜園をしているので、野菜など提供してもらえる。
また、会員など不登校経験者の親や本人が多く、ゆっくりと経験に基づいた関わりができる。

⑫他団体等との協力

＊他団体等と協力して事業を行う場合は，その団体名や役割を記入してください。

・NPO 法人倉敷町家トラスト　場所の提供。ご近所の方への呼びかけ。
・岡山高等学院　イベント参加、手伝い。若者の就労体験。
　　若者や家族の相談にのる。
・倉敷伝統地区を守り育てる会　伝統文化の伝承。

⑬行政との協働　**※自主事業部門の団体は記入不要**

主となる部署名（　　）　主部署の同意（ あり ・ なし ）
その他の部署名（　　，　　）

協働する部署との協議

月　　日（内容：　　）
月　　日（内容：　　）
月　　日（内容：　　）

協働する部署の役割

様式第３号

予算書

（収入の部）　　（単位：円）

項　　目	金　額	内　　容
受益者負担 （参加費，受講料など）	30,000	ワークショップ参加費 300 円*20 人*5 回
会費からの繰入金	38,000	
そ の 他	396,000	一汁一菜ランチ 550 円*20 食*24 回 その他一品 150 円*10 食*24 回 甘いもの 400 円*10 食*24 回
市補助金	300,000	
合　　計	764,000	

（支出の部）　　（単位：円）

区分	項　　目	金　額	内　　容
経費①（対象経費）	人件費（団体会員に支払うもの，交通費を含む）	30,000	会員の交通費
	人件費（団体外部に支払うアルバイト代等）	120,000	アルバイト 600 円/h*4h*2 人*(24+1)回
	謝　金 （講師等に支払うもの）	20,000	ワークショップ講師 5,000 円*4 回 旅費含む
	旅費交通費 （講師等に支払うもの）		
	消耗品費	80,000	事務用品、ワークショップ材料 10,000 円*5 回 レジュメ、案内、コピーインク・紙 30,000 円
	印刷製本費	60,000	チラシ、案内 30,000 円*2 部
	通信運搬費	2,000	案内送付切手 82 円*20 部
	保険料	3,000	行事保険 28 円*20 人*5 回
	使用料，賃借料	63,000	町家使用料 2500 円*25 回 打ち合わせ使用料 500 円*5 回
	委託料		
	小計　①	378,000	
経費②（対象外経費）	報償費・人件費	192,000	カフェ人件費 800 円/h*5h*2 人*24 回
	食糧費	174,000	ランチ食材費 300 円*20 食*24 回 その他材料 30,000 円
	その他	20,000	消耗品
	小計　②	386,000	
合　計		764,000	

（記入上の注意）

※　団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は，**申込み前に**事務局に相談してください。

※　実施可能な経費，内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。

※　内容欄には，単価・数量等の内訳を記入してください。（別紙添付も可）